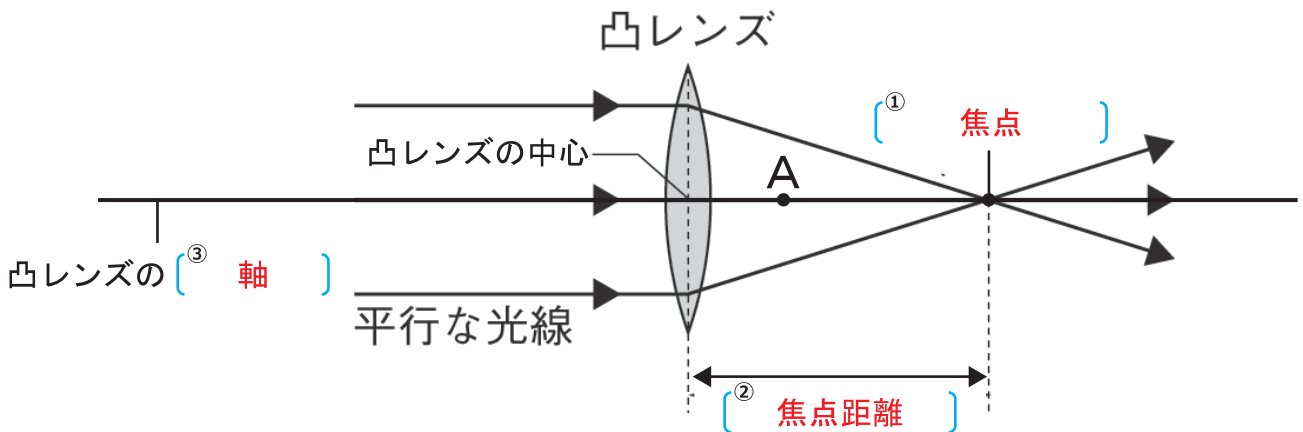


凸レンズの働き (1)

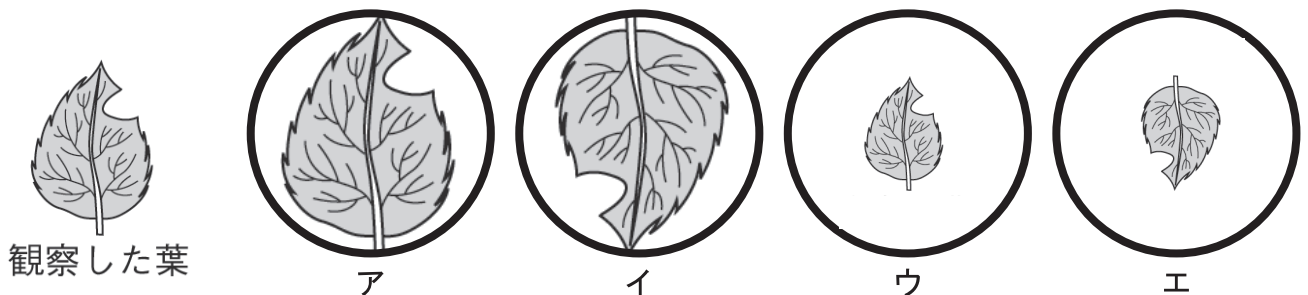
【1】次の文章の () に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 物体の実際の大きさを変えて見たい時に、レンズを利用すると良い。レンズには、中心がふくらんだ形の (**凸レンズ**・凹レンズ) と、中心がへこんだ形の (凸レンズ・ **凹レンズ**) がある。
- (2) レンズを通して見えるものや、スクリーンにうつって見えるもののことを (① **像**) という。さらに、凸レンズで見たときに同じ向きで実物より大きく見えるものを (実像・ **虚像**) といい、スクリーンに上下左右が逆にうつるものを (**実像**・虚像) という。
- (3) 凸レンズの軸に (垂直・ **平行**) な光を当てると、レンズを通った光が一点に集まる。この点を (② **焦点**) といい、レンズの中心からこの点までの距離を (③ **焦点距離**) という。
- (4) 太陽の光が凸レンズを通ると、 (**②の位置に集まる**・レンズの軸に平行に進む) 。
- (5) ②は凸レンズの (片側に1つだけ・ **両側に1つずつ**) ある。

【2】次の図は凸レンズを通る光の進行を表したものである。



- (1) () に当てはまる言葉を書きなさい。
- (2) A の位置に図のような葉を置いて、反対側からレンズをのぞくとどのように見えるか、下の図ア～エから正しい物を選びなさい。



答え (**ア**)